

6-6

大 六 受信 一三五四八 丁 一五二〇 電 〇二九八三 航作 本 本 〇



暗號軍極秘

【通報表示】 第五基地航空部陸海方面飛行機配備基地

機密第〇五二〇三二番電 二分ノ一二

石垣島航空基地

宛 第一航空陸隊

貴機密第〇五一六〇三番電返

海軍飛行場主滑走路彈痕約十三修補ニ着手 副滑走路ハ中央道路滑

走路ニ彈痕約三〇箇中セルモ修理完了シアリ但シ以日來ノ本雨ニ

依リ埋立箇所軟弱トナリタルモ本日快晴ナルトモ以機ノ來去ナキ

爲使用可能トナレリ今後天候回復ハ大迎機アリタルモ使用ハ充

三二五一 三二五二 呂一七ヶ十二(B)カニヶ谷 河島、永田(森田)

分可能ニ依リ陸軍飛行場ハ西側半幅一〇〇キ一三〇〇米敷化ナルモ土  
實ハ酸鹼ニシテ爾後泥濘甚シ液彈修理ニ費日ヲ要ス現在迄モ北側修理  
中ニシテ本日二二〇〇以テ使用可能。

六六 受信 〇〇一〇三五 了 〇一〇七 〇二六八六 作  
〇〇一〇三六 〇二六八七 取本

作 業 係

五基地航空部隊作戦命令着信書所

五基地航空部隊

34

機密第〇五二二三一番電 二分ノ一二

五基地航空部隊作戦命令第一三七號

左ニ依リ第九次機作戦實施スベシ

一偵察隊彩雲一機六日午後地點「ノレ四エ」ヲ中心トスル半径五〇浬

國內索敵

二零四隊零機一〇一―二機(燈裝直掩ハ指揮官所定)六日夕刻石垣島

進出令ニ依リ七日黎明索敵攻撃

三六日彩雲ノ索敵ニ依リ見セザル場合七日黎明零機二機石垣島

發進第一項海面索敵午後彩雲一機ヲ以テ更ニ同一海面索敵令ニ依リ

八日黎明零機索敵攻撃トス。

二九二二・二九二三 呂一〇ケ十二(三七八二五)五POLL放  
未光・相澤(飯 田)

6-8

6-5



局長			
A	一	二	三
B	四	五	六
E	七	八	九
J	十	十一	十二
G	十三	十四	十五
	十六	十七	十八

機密第〇五二二五號番電

THE 信號合作第一號三號

天候不良ノ爲熱水九號作職延期ス。

通二八九五 於十六(三九三七五) (一E P O B 放 阿部 (秋 葉)

六五 受傳二二三二四

譯了二三五二 電〇二六五七 航作本〇

符 共 發

三急

作

誤信〇四二〇 誤了百二〇 雷〇二八八九  
誤拾〇八四〇 航

報

九 航空部隊戰術概報着信船所

報

三一室(依伯航空基地) 機密中〇六〇〇〇二番至

第九三一部隊戰術概報中三七号(六月五日二二二〇)

菊水九号作战天山二機(他二機八奔運ヲ取止シ)ヲ以テ敵  
船船照明雷撃ノ為一九三〇串良發運途中天候不良

ノ為引返シ二二二〇迄ニ全機帰着  
天候變化十三 雲所々雨雲量一。雲高  
三〇〇 視界

三〇六三 三一〇一三二八七五〇二KFGB

神山川口

六七 受信開始 〇〇三一九 〇〇三二九〇 作 概 〇

作戦特別緊急 聯合艦隊 那 那



機密 六一〇二五〇

球參電第五六三號 其ノ一、三、六 五? 日地上戰況

一、敵主力ノ追撃速度ハ緩慢ナルモ其ノ一部ハ我ガ遊撃部隊ヲ侵透シ通  
信所近ク近接シアリ即チ「グシチヤン」ニハ約二〇〇ノ敵朝來行動  
シアリタルモ一八〇〇之ヲ撃退ト(以下其ノ三)海軍ト共ニ交戦目  
下「ケウハ、ワカサベ」ノ線ニ彼我對峙中ナルモ昨日來「カキハナ、  
先ハラザキ」方面ヨリ戰車約百輛ヲ伴フ敵上陸シ來リ同方面又激戰繼  
續中ナリ

三三〇二 三五四三 協作 (C) 抄本 稻岡 (新井) (一)

「那覇」港及「小祿」飛行場ヲ極力セイヤクシタル後軍主障地内ニ  
 徹シシムベク既定ノ方針ニ基キ指揮指導ヲ加エアルモ（核）  
 （電信課註 本電其ノ一、三、六以外未着）

大 大

天

停

長	一	探	長								
A		B		C		D		E		F	
			沖								

● 天一製作機部隊

機密部 〇六〇三〇七番電

一 等土木機械使用三〇分ニテ完成セリ  
 二 南北明治橋ノ復旧ニ「クレーン」舟艇等ヲ利用半日ニテ完成セリ

〇三〇七。

三三六八

於十六

（九八三〇）

佐三放

（一）

馬

谷

（）

6-6

六 七 受信 〇〇二二八 〇〇五〇〇 〇〇三三四六 作 証 〇



聯合 隊 口

那 期

六一〇四〇〇

海軍部 第六三號 其ノ七

海軍部 隊ハヒ包圍ナル同方面ノ戰況ハ撤退行動ヲ許サズトシ依然同地 固守ノ方針ヲ堅持シ戰闘中ナリ。

電信課註 本電其ノ一三六既配布 二四五未着

通 五五六

協 作

陸軍航空部 隊

(平山)

(海軍) (海軍)

6-6

作

六六 使信二三四 譯指一五九

作或緊急

譯了一五三七

電〇九四〇

航本

鹿屋航

三基地

官崎航空基地

天航空部隊戰術報着信控所

機密第〇六・八三。各電

七六二部隊戰術報第一六号(六月五日)

菊水九号作戰沖繩用迎敵艦船攻撃隊河三和七戰隊

重爆六和(各一機故障)島引返ス(一九五〇官崎基地發進列

島東兩方天候不良地良十口五ノ附近ヨリ雷雨トナリ銀河

一和、他全機引返シ〇三〇進ニ官崎着銀河一和八三二〇

以後二三五〇進ニ八未歸還 二二〇〇菊水九号作戰延期ニ

依リ九八下ノ發進ヲ取止ム。

通五三四四 五一〇个十二(七八五五五)一FPG



六 六 受信一五四六 了 一七五〇 〇三〇〇七

航本

緊急

空



五基地航空部隊指揮官

四〇一三戰國海軍通信所

波密第〇六一〇五六番電

新竹皮膠部隊戰報(六月五日)

一七一〇天山四機沖浦周邊敵艦船海軍艦隊ノ爲後進(内一機敵動機不明ノ爲引返)二機一九五〇及一九五八夫々嘉手納沖航行中ノ〇機敵効果不明一機二〇〇三機名不明西方ニ於テ種類不詳(從泊中)ヲ發見  
管線効果不明以上何レモ二二三〇迄ニ新竹諸層内一機着陸時小破  
戰場附近天候曇雲量一〇雲高五〇一〇〇米雲間「スコール」及「ミスト」二十四日。

呂一B々十二) B 一カニガヤ 久保田(渡七一)

1915

6~6

大 大 慶 德 一 五 〇 記 子 一 七 五  
設 信 一 大 〇 慶 〇 〇 〇 一 〇 七  
作 概 〇

緊 忌

〇 傍

〇 著 文 一 魏 作 賊 部 疎

〇 神 根 尸

機 密 第 〇 六 一 五 八 番 電 二 分 一 二

發 沖 繩 方 面 特 根 司 令 官

一 昨 五 日 南 北 一 貫 架 橋 完 了 夫 力 物 資 輸 送 恐 發  
二 本 朝 采 敵 小 祿 部 落 兩 方 對 立 攻 擊 戰 烈 三 多 德 我 激

三 根 差 部 高 等 方 面 八 何 〇 毛 陣 地 構 築 中 七 〇 〇 陸 上 荷 設 〇  
四 〇 〇 〇 街 道 殆 〇 南 下 中 敵 〇 當 固 〇 迫 擊 砲 〇 備 〇 次 期 作

五 〇 〇 〇 街 道 殆 〇 南 下 中 敵 〇 當 固 〇 迫 擊 砲 〇 備 〇 次 期 作  
六 〇 〇 〇 街 道 殆 〇 南 下 中 敵 〇 當 固 〇 迫 擊 砲 〇 備 〇 次 期 作

七 〇 〇 〇 街 道 殆 〇 南 下 中 敵 〇 當 固 〇 迫 擊 砲 〇 備 〇 次 期 作  
八 〇 〇 〇 街 道 殆 〇 南 下 中 敵 〇 當 固 〇 迫 擊 砲 〇 備 〇 次 期 作  
九 〇 〇 〇 街 道 殆 〇 南 下 中 敵 〇 當 固 〇 迫 擊 砲 〇 備 〇 次 期 作  
十 〇 〇 〇 街 道 殆 〇 南 下 中 敵 〇 當 固 〇 迫 擊 砲 〇 備 〇 次 期 作

6~7

六七 受信00五 読了0三三 電0三六六五 作概  
読始0一三。

停

報

沖根  
大島防備隊

送

久米島見張所

機密第0六一三三番号

宛 沖根司令部  
慶良間列島座間味島陸軍部隊より連絡。為五月一九三〇号に二列至有七人  
兵員三伍八名慶良間列島、敵情ハ脱出期日五月五日ニテ一日目船出スル意現  
狀ニテ予ルルモ変化ナシモト上思考セズルモ左ノ如シ  
敵ハ慶良間海峡ヲ船陸前進基地トシテ、設營ヲ為シテ予座間味ハ船艇修  
理設備ヲ為シ敵約ハ。名ニテ大部合ハ工員ト認メルル。都活ヨリト山ノ邊  
汲兵器設置台要所。真角砲機銃隊比多數アリト。島慶留同島中隊  
本部ヲ水上機基地トシ使用シテ予座間味ニ兵上陸者初三月十日自決化ハ  
敵監視下ニ渡積ニ版シテ予陸軍部隊軍備屬ト。婦人の言々多數我比外係者  
トテ敵便役下居リ。島ハ三月十日敵上陸ニシテ軍備ヲ予為力却退コラ山岡  
係者全量捕内ニ存リテ無ク。  
通一八 於(五)九(三)...

日中(停)

6-8

六八度信。二三七 澤丁。〇六三。電。〇三九三二 作砲。  
澤炊。〇三三。

④ 奈 久米島見張新

③ 沖根 P

② 大島防衛隊

機密才。〇六二四三。赤毛 三分一二

發 度良同列島 座間味島 第六七部隊同配服部隊

宛 宇品 P 第一六四。部隊南方司令部

通報 沖根司令部

座間見幾十 概報 茲三狀況報告

三月二十三日夕刻。三月二十五日。銃爆更及艦砲射更下丸。

通。〇二九四一六。才。八九九九。佐通

十一(中)

出多準備 〇〇〇 機令ヲ得テ攻敵ヲ決行出テ入リ二十五日  
一三〇〇 無線電信機破壊決死討勢ヲ執ル

二敵三十五日一九〇〇ア下部落東方ヲ一部上陸二十六日

一一〇〇 座間味山岸ヲ水陸兩用攻車數十台ヲ

主力部隊上陸之ニ對シ同海岸線ヲ戒備中服部小

隊ハ勇猛奮テ後全員死 味方主力ハ全兵力ヲ

座間味部落北方高地 一七〇〇集結斬込隊編成ニ

二三〇 高月、敵重火器部隊ニ突入敵ニ多大損害

ヲ與ヘタルモ全員壯烈ナル死ヲナス

三残り部隊二四〇〇ア下部落北方高地ニ移動三〇日未以迄

計峙シ更ニ同部落北方攻車ニ出陣地構築四月五日

毎夜下士官ヲ長トシ斬込隊ヲ敵陣地近ニ兵舎ニ切入り多

大損害與ヘテ四月十二日艦砲射車ヲ掩護下敵ニ中

隊、攻車ヲ受ケ之ニ多大損害ヲ與ヘ重傷トシテ我亦多  
數死傷者ヲ出シ部隊長梅澤少佐(右足死傷)以下  
約百名トナレリ

四別法各所ニ転進 斬込續行ヲ許セテ沖繩島ニ

ヲ派ス 一四三〇

(電位深注 本電各三未着)

六八 受信一四三〇 一五三〇 電〇三九五五

久米島見張所



沖根 大佐 佐高防

機密第一〇八一四三〇 三分ノ三

五月五日二〇名ヨリ成ニツノ連絡隊ヲ編成一隊ハ沖米島ニ一隊ハ

筒井中尉ヲ長トシ久米島ニ向ヘリ久米島連絡隊ハ五日夜間クリ船ニ

乗テ以テ脱出同夜クハ山崎山崎者ニ依頼出被津浦ヲ爲ス

六久米島出身者ヲ水先人トシテ同乗セシメ六月四日一九三〇クリ船通

船各一隻分乗出被途中突風ノ爲クリ船頓擧筒井中尉以下四名行方不

トナレ高橋伍長以下下士官二兵一四一九三〇相前後シテ久米島到

通四二九八 才十五 (九六九〇) 佐通 (五)

三座間味島留員、海軍部隊長以下の二〇名敵兵力、約八〇〇名、  
 予電液兵器及高角砲機銃員、其大部分、  
 (通信線註 本艦三分、一二既配布)

大

方大 復信八八八 談了一九三五 電日三〇五  
 談八八五〇 飛本

(作)

第五基地航空部隊  
 機密第一〇六一六五 一番 密

第五基地航空部隊

第五基地航空部隊司令部 第一三九號

一石垣附近空襲隊八明七日初黎明「ケ」〇コ「ヲ」中心  
 偵察隊ハ新雲一機ヲ以テ右ノ戦果偵察ヲ實

施スベシ。  
 通「三」 是乃「ナ」 (一三三七五比) 五百乃故 原(所)也

六七 受領 〇三三九〇 野了 〇三四八 既自 〇三三六二 本本 〇  
〇三三九〇 〇三四八 〇三三六二 〇



天一紙作殿御殿

秘番 〇六一七三二番 三分ノ一ニ

本日〇三〇天候次第ニ恢復始輪集聯機烈ナリキ  
〇六〇〇頃ヨリヲ一八機行動開始爾後延三二機海軍ヲ  
機ナリキ始メトシバニ〇一六機ヲ四ノ一三二機ヲ四ノ一  
一一機之ニ協力統率ナリ  
〇八〇〇頃那覇沖ニニアリシキ米海軍ニ一隻移動ス〇九三〇以後  
嘉手納沖ニ一〇一〇七ヲ約四〇那覇沖ニ一〇二〇三一七米海軍ニ  
〇一〇三三トナリテ砲撃ヲ加ヘタリ  
三 照況切迫ナリ 小官ノ報告(通報)ハ本館ヲ以テ此處ニ一先ツ終信符  
ヲ打ツルキ時機ニ照準シタルモノト判断ス後了承アリ度  
〇三三九〇 〇三四八 〇三三六二 〇



六七八九  
〇一〇一〇二〇三〇四〇五〇六〇七〇八〇九  
一〇一一一二一三一二一四一五一六一七  
一八一九二〇二一二三二四二五二六二七二八二九  
三〇三一三二三三三四三五三六三七三八三九  
四〇四一四二四三四四四五四六四七四八四九  
五〇五一五二五三五五五五七五八五九五〇  
作位〇

開 卷 東 沖 校 P

設密部〇大ニ〇一六番電大分ノ一二三四五六

愛 沖繩根城地隊司令官  
宛 海軍次官

左ノ電 次官ニ 通報方取計ヲ得度

沖繩縣民ノ實情ニ關シテハ縣知事ヨリ報告セラルルニキリ既ニ  
通信カノクニ二年間令部又通信カ餘力ヲシテ關シラルルニ付本  
知事ハ依頼ヲ受ケタルニ非ラザレドモ現狀ヲ看過スルニ忍ビス  
之ニ代ツテ緊氣 通知申上

三三三  
八七二  
六六六  
六五三  
三三三  
六八八  
八八八  
二一  
ロ一〇  
タ七  
五二〇  
九〇〇  
KOK  
佐 高  
宗 橋  
一

1925 8.1.9





作

大 七 受領 二〇八三〇五 丁 二二三三〇 夏前 〇三九三三 八 作書 〇  
開巻 東 通 沖 模 A

横路第〇六二〇一六番電 六分ノ三三三六

願ミルノ暇ナカリキ然レトモ本殿ノ知レル範圍ニ於テハ國民ハ青  
壯年ノ全部ヲ防衛召集ニ捧グ殘ル老幼婦女子ノミガ相次グ砲撃  
ニ家屬ト家財ノ全部ヲ焼却セラレ僅ニ身ヲ以テ軍ノ作戦ニ差支ナ  
キ場所ハノ津日避難尙砲撃ノガレ中風雨ニ曝サレツツ乏シ生  
活ニ甘レシアリタリ支柱モ若キ婦人ハ砲撃軍ニ生テ捕グ看顧  
炊爨ハ元ヨリ砲撃軍ニ無身切込撃ヲ由出ルモノアリ所際敵來テ  
ハ老人子供ハ殺サルベク婦女子ハ後方ニ退リ去リタルニ事牙ニ從  
セラルベントテ親子生別焼ヲ軍需門ニ捨テテ捕テテ看顧請ニ至リ  
テハ軍需動ニ際レテ牛馬ニ出發身寄テテ負傷者ヲ助ケテ救テ傷  
通三八八八一 三三六八八二 日一〇ケ六 (五二) 〇〇 (ROBO) 力二ケ六 (一)



六 七 受信〇〇三五四 丁〇七一〇 電〇〇三三五八 作概〇

緊急 天一號作戰部隊 沖 根



聯合陸軍隊戰報第五五號 機密第〇六二二二四番電 二分ノ一、二

六月五日ノ戰果中判明セルモノ左ノ如シ

一、餘水方面新込隊戰果戰車破壞二輛人員殺傷約二〇

二、根差部高安方面戰國戰果觀測機一機破壞聯合砲隊破壞四人員殺傷

約二〇〇

三、安次峰方面戰國戰果迫近砲破壞二機銃破壞一人員殺傷約一一〇

四、古瀧藏國場方面敵物資貨車集結所ニ對シテ今朝挺進新込ヲ決行

爾後確證ヲ得ザルモ戰果相當大ナル見込

通三五五六 呂一ヶケ七 (三九八〇) (七) 岩田 (小澤) (一)

五全員士氣極メテ旺盛四日夜以來斬込隊ニ参加セルモノ將校佐官以下下士官兵及軍厨四〇〇ニ及四圍ニアリテ大イニ活躍シツツアルヲ以テ大戦果ヲ望ゲツツアリト認ムルモ目下ノトコロ詳細不明。

六 七 陸軍第七十三師 第一旅団 第一旅団 第一旅団 第一旅団 第一旅団 第一旅団 第一旅団

● 聯合隊司令部・東郷・佐賀下・高橋

● 石垣島 警備隊

● 警備隊 〇六二二二五番

六日戦況

米英艦上機延次三機〇五五五〇リ一八〇〇迄五次互リ攻撃飛行及附近村落ヲ銃撃一三二〇リ上陸通達其ノ船午後二次互リ本島西方海面ニテ延次三機石垣ヘノ往復ヲ觀ム戰果甚大ナリ云戦果追加三日及四日兩日共戦隊一機被シ一機通達本隊亂片組合セノ第一區畫ヲ四日用シ他ノ六日ヲ使用シ通三八四七 天ニケ十二(五三〇〇)夜 中田(小池)

六 七 受信 〇七三〇 譯丁一二五五 〇三〇〇 〇三〇〇 〇三〇〇 〇三〇〇 〇三〇〇  
 開始 〇八一〇〇

緊急 石垣航空基地



五基地航空部隊指揮官  
 官古航空基地・五基地航空部隊飛行機配備基地

漢語第 〇七〇〇〇一番 二分、一二

石垣基地戰國極報(六日)

一零戰九機索敵攻擊待機

二〇六〇〇一八九一〇六〇一・三五五 四〇〇一 二三三 四〇〇一

一 二六機 PBM-1 二機計八六機來襲飛行場、部隊、

三副滑走路長廿最大一〇〇米五〇 一〇〇〇米使用可能

四搭乘員器材保有(實動)零機七三(一二一一〇)九 九六機二(二二  
 〇〇〇)中(二二二〇〇〇) 一〇〇〇

三六〇一  
 三六五八

一B 一七五五 力二ヶ谷 五FG 機

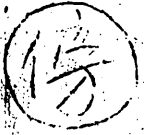
8-7



六八度信。九五九 澤了二四五 電。三六八三  
 澤姓一〇四。 作航下。

緊急

④ 臣仁屋航史基地



天航空部隊

天航空部隊

陸空部 〇六〇四三五 蒼電 六分二二

六三〇空古... 海邊隊... 概... (六日)

一、... 二、... 三、... 四、... 五、...

二、... 三、... 四、... 五、...

二、... 三、... 四、... 五、...

通... 〇六〇四三五... 〇六〇四三五...

(1)

三 被害上番機被弾、為着水時顯覆沈是一番機歸  
 投時發動機停止墜落沈没（操縦員言畢偵察  
 員 相川大尉（軽便））  
 四 敵部隊上空及び屋島島附近に我機隊を  
 敵部隊に先遣部隊 隊番号〇六一五三。番号、モニ該  
 者スルポイント認ム  
 五 保有機数六一の動機数〇

(2)

六 受信〇九一〇 終了〇九五五 記〇三三六九 作機〇

作機特別要領

共符



天敵空部隊作機令者信機所  
 信文内容表示作機令者信機所

機番号〇七〇八三〇番機

TPP通信合作第一五七號

六期水九號作機發動ス

三一七一號ハ一二〇以後速ニ沖繩島邊偵察並列ヲ編天候偵察ヲ

實施スベシ。

三六二八 三一〇七（七八七五記）一五〇日誌 志津（細川）

1-9

六七 受信一三二五 了一五三五 電自〇三四六一 電

至 象

● 天航空部隊・六航電派遣通信隊  
● 東 通 聯合艦隊口

機密第〇七〇八四五番 三分二二二

カ P B 捕虜訊問情報 (六月三日知電附近ニ於テ發隊セル「シヤング  
リラ」ヲ四ロー一搭乗員ア備大尉)

「三八 K D B 第四群旗艦「シヤングリラ」「ヨークタウン」「タイ  
コンデローガ」「インデペンデンス」指揮官「ラッドフォード」

旗艦三ヲト五ヲノ交代ハ四月七日「四月二十一日「ウルシ」ニ於  
テ行フ

日「シヤングリラ」搭乗機數 戦機機 (P四ロー一) 十四 B B 二〇  
一、八機 P B B B 一、一三機 計九四機

三三三 九八三  
六七二 七八八  
六九二 七八八  
五四一 五〇〇  
ロ一 B B 一 ( )  
H P B B 機 新倉・田中  
(佐藤)

空母損傷程度ナリシモ「エンタブラス」「エセツクス」三月下旬  
初マロニ於テ外見上内 砲撃ハ大火災ノ跡マリ他ノ一機ハ機動甲  
板ニ損傷シアル如キヲ目撃セリ(一機ハ本朝ニ噴煙セルモノノ  
如シ)

五月十四日「パンカーヒル」三機命中大損傷ナラム返由本朝

砲撃

五月下旬空母マモ「ラングレー」外 損傷アリ 五月二十  
五日以後第四群ニ降カル

「シヤングリラ」行動進要

三月十三日真珠湾發三月二十三日マロ着

三月三十日マロ發五月五日沖繩發

五月七日マロ着同二十三日マロ發五月二十六日沖繩着

五月二十二日マロ在泊機約九〇〇機中ニ海兵隊ノ乗船セルナ  
リ

大八 受信一三二二  
作戰緊急 開始一三一〇

丁一五一〇 電〇三九八三

航作本C

菊池航空基地



一航空艦隊口、石垣航空基地

五基地航空部隊臺灣方面飛行配備基地

(通報表示 五基地航空部隊配備場所)

機密 〇七一〇〇二番電

宜蘭基地觀測連絡(六月七日)

二空戦一三(内石垣ヨリ六機)歸着

三敵部隊(特空母四他六)ノ地點「ノ又ニキ」針路南進力一大節〇

六二〇

三機果 命中機數二機空母一火災停止傾斜(命中點中央)他ノ空母  
一機火災(命中點前部中機附近)。

通四二四番 四一〇七一二(一一三四七、五四)カウガヤ石野原(笹田)

六七 受信一二三四 丁一二〇〇 〇〇三三九七 作部〇  
開始一一三〇

緊急



① 小形航空基地  
② 沖根  
③ 廣野航空基地

機番第〇七二〇二二番

機 五ノ長官

宛 南西航空隊司令部

通致 沖根待機司令部

司令以下隊員一同ノ長期ニ亙ル監視ヲ多トシ 隊員ノ一兵ニ至ル  
迄隊員ノ監視ヲ多クシ且ニ監視ノ任ニ適任者ヲコトサズム。

編三六八一 目一〇七七 (七八七五) 一五五〇 機番(可成)

6-7

六七  
受信一二三一  
談始一三〇〇

談始一三〇〇

談了一四二〇 更〇三四二七

航概  
本

● 鹿屋航空基地

● 沖根

機密才 97-045番電

● 信

● 着

● 五AF長官

宛 GF參謀

通報 GF參謀長沖特根司令官

南西諸島航空隊司令ハ累次、我斗ニ於テ赫々ノ揮動ヲ  
樹テ又天号作戦以承現地陸海軍部隊ノ連絡敵情通報  
ノ任務ニ從事天航空部隊ノ作戦ニ寄與スルニト至大ナリ  
貴官ノ努力ヲ謝シ尚今後、奮闘ヲ祈ル。

通三ノ八 區一B 七(七八七五K) - KFGB 被伊(伊恩)

勝 始 二 二 二 〇  
〇 三 六 四 六 元  
作

緊 急  
天 一 關 作 戰 部 隊



機 密 〇 七 一 三 〇 五 番 電 二 分 ノ 二 二

沖根聯合隊戰隊戰圖速報第一號

- 一、昨夕敵ノ一部ハ小森部落西部高地ニ侵入一應退却セラルモ再反約  
一〇〇ノ兵力ヲ芥河ニ侵入シ來レリ
  - 二、本朝〇二〇〇夜襲ニヨリ右高地奪回シタルモ〇五三〇敵約一個  
中隊同高地北斜面ヲ占領スルニ至レリ
  - 三、一〇〇〇敵軍ニ二輛オニマ連絡ノ敵ハ小森部落ヨリ豊見城  
部落ニ向ケ進軍シ來レルモ捕促我之ヲ退却ス
  - 四、金城赤嶺ヨリ間ノ線ヲテ彼我激戦中依然同線ヲ確保シアリ
  - 五、那賀郡ヨリ園場方面「トラツク」約三〇輛ヲ以テ物資輸送
- 通三九六二 呂一ロケ (七八七五)(一五〇〇)放中野(石井) (1)

兵力約二〇〇移動セリ  
 六一〇〇泊添岸ニ水陸兩用戦車約三〇輛集結中  
 七占差部 師安方面變化ナシ  
 八「トラツク」ノ八島橋ヲ通過補給以得。

六七 受信一七一二 丁一九〇九 電〇三五五六 作 衛〇  
 開始一七四八 電〇三五五七

作戦緊急

● 沖 根 A

傍

● 天一號作戦部隊

機密第〇七三三四番

聯合艦隊部隊

六月三日ヨリ晴引續キ申分ナキ天候ナリ

〔午前〕Bヨリ一延一機四機一四延一三機ヲ以テ上空制圧銃塔  
 ナ行ヘリ 艦砲射撃ハ昨日ヨリ幾分「P」アリロエテ以テ時

々猛烈ニロケツト砲ヲ發射セリ

口一〇二五艦艇西側ノ下ニ大型輸送船十一隻糸浦沖北上諸手前

ニ入港一〇三五口區後糸浦沖ヲ南下中一二〇〇艦艇沈没口區Bニ  
 三四八口約四〇隻糸浦沖B一〇一B三。

艦三七七一・二八二・三〇一(六)〇〇Bノ三ヶ谷

全三

6~7



六 七 受信一六五三〇 解了一八一五 電〇三五二七六 作電〇・航本

作戰緊急



七二航戦・  
天航空部隊作戰命令着信線所  
機密第〇七一四〇九番電 二分、一二

七二▲B信電令作電七隨

明八日左ノ要領ニ依リ喜界島附近敵制空戦闘機ノ撃滅電ヲ實施ス  
一、参加兵力二〇三部隊、三四三部隊、可助全力

二、編制 第一及第二制空隊、入二〇三部隊、第三制空隊、三四三部隊  
三、制空要領

(四)各制空隊ノ制空時間ヲ十五分間トス  
制空要領  
第一制空隊制空時間、〇九〇〇トレ爾後十分間隔ヲ以テ波狀編取

通三七九四 呂一Bヶ十二(七八七五) (三九八五) (一ヶPGB放 高木(川口)1

四喜界島進攻制空作戦ノ際語「蟬呼キ」トス  
兵第一制空隊發進前ニ敵來襲セル場合ハ令ナクテ全力激戦ニ臨ズル  
モトス。

六七  
受備二〇五〇二  
丁二一〇  
電〇三五七三  
作  
至  
盤  
● 沖繩根  
▽



● 二九根▽・小糸航空基地  
● 聯合艦隊P・佐領P

機務第〇七一五〇六番電二分ノ二

小糸地區ニ敵來攻以來各隊連日肉彈特攻精神ヲ以テ勇戰敢闘セルハ  
本隊ノ最モ心強サヲ覺ユ戰果ノ期待ヲ大トスル所ナリ今ヤ當地區ノ  
決戰段階ニ入り諸子益々強靱 作戰ニ徹シ短兵 功ヲアセルコトナ  
ク極力敵出血ヲ強要シ兼ネテ覺悟シタル小糸死守ニ海軍傳統精神ノ  
發揚ト戰果獲得ニ全力ヲ致サンコトヲ望ム  
餘ハ七國高地ニ在リ。

通三九五二・三九五五 於十六(五二〇〇B)佐通 山下・(秋 業)

六七 受信二二二五 歸了〇二一〇 〇〇三七一九 航作本〇

緊急



● 廣田航空基地  
● 海軍航空隊口

● 海軍航空隊口

航空隊〇七一八二五番地 二分ノ一二

宛 〇〇〇〇隊長

當基地ニ歸ル敵機ノ來襲狀況ハ三月下旬以來五月七旬ヲ越頂トレ  
中旬敵機助部隊九州方面策動以來急減待ニ本日ハ天候不良ノ爲メア  
リテ攻撃ハ勿論消滅後ノ出奔モ極メテ少數トナリ茲ニ日來ノ如キハ  
待ニ天候良好ナルモ軍ノ警戒並ニ統制ノ情況ハ當來ト全ク港ヲ封  
ニシテ極メテ低クナリ又夜襲モ殆下出シヨラズ新ル好機ニ伴ヒテ多

通九七七七 第一〇ケニ (一七七二) 九A P P 半倉 (川) (1)

少気象上ノ悪條件ヲ取ビテモ使用セザレバ今後舊基地活用時機ハナ  
シト認ム。

六八 受信機 〇〇二〇〇〇 解了 〇二五〇 電 〇三六九四 航作機本〇

緊急 官古空地



● 一機動基地航空部隊・小規模空地・五基地航空部隊  
● 石垣空地

機密第〇七一九二六番

戦国概報 (六月七日)

一〇六三〇ヨリ一八三〇迄ヲ四〇一〇七機ヲヨリ九七機來機主ト  
シテ本島西半面ヲ銃爆盛戦果ナシ被害主滑走路被弾大九小三本

日使用不能

三機材搭乗員現狀昨日ニ同ジ。

通四〇七八 三一〇七七 (七八七五四) 一五〇〇 (上野)

6~7

1653

至 録

開始二一三〇

幼 ?

九

二 空 隊 小 隊 派 遣 隊 長

(三 符 字 脱 二 一 空 隊 長

那 羽 分 隊 員 全 員 ニ ハ 陸 上 戦 闘 開 始 以 來 當 隊 指 揮 下 ニ ア リ テ 勇 戦 奮 闘 せ  
ニ 目 覺 シ キ モ ノ ア リ 此 處 ニ 臨 ミ テ 敵 意 ヲ 察 ス

( 東 通 駐 本 露 問 合 セ ノ 爲 遅 延 )

通 四 七 一 九 於 十 六 ( 九 六 九 〇 ) 佐 賀 日 沖 根

小 野 寺 ( 飯 田 )

六 七 受信二三二〇七 歸了二四〇〇 電〇三六五〇 作

急 鹿 野 地 沖 根



機密第〇七二〇一八番電

發 南西諸島空司令

宛 五△長官

敵揚陸以來部下一同克ク結束下ニ勇戰敢闘中ニシテ特ニ當小磯地  
城戰闘狀態ニ入ルヤ連日連夜文字通りノ肉攻切込ニ徹シ各員殊死  
奮闘中ノ處御懇篤ナル敵勦ニ接シ隊員一同更ニ奮起皇國護持ノ任  
ニ邁進以テ御期待ニ沿ハントス。

通四〇六五 於十六 (三六九〇K) 沖根 小野(石井)

6-7

1654

六八 受信一四二二 丁一六〇一 電〇三九八七 作〇  
開始一五一三 〇三九八八 航本

緊急

官古島

作

聯合艦隊中・佐官・高口  
大本營海軍部

石垣島

機密第〇七二〇四七番電 二分ノ二

機密第三八五號

來電米機 T B F P 六 F 聯合延一六〇機自〇六二〇至一六二五 五次

ニ耳リニ〇乃至四〇枚機編隊ヲ以テ陸海軍飛行場銃擊使用中ノ西飛行  
場及本島ヲ銃擊發在空中時機ハ一時機侵入避退方向機ハ東方本日來襲  
機ハ機動部隊トハ別箇ノモノト認ム別ニ毎次一〇乃至二〇枚機編隊石  
垣ヘノ往復ヲ認ム機果ナシ後官職死兵一區伊豆大尉外兵二十二人  
一被襲機三機民家若干焼燬。

延四二六三、二二八二 天(日)字一(三三〇〇) (機密)

昭和十六年六月九日

六八便信〇一。澤子二四五 電。三九一六作砲。  
澤信〇七五 〇三九一七 参力

至急 仰根 ↓

① 仰 ② 看 八一號作我部隊

秘密方〇七二五一為書 二分一二

仰根運合陸隊隊中概報事五言號(六月六日)

一、以迄於完成後敵兵力移動物資、輸送盛、但、未、改、車、  
通過、  
二、朝、未、亦、廢、全、或、小、隊、部、落、對、此、重、庄、加、一、部、兵、力、小、隊、西、  
部、高、地、侵、入、一、應、重、退、三、日、夕、刻、更、三、兵、力、增、加、的、〇、侵、入、  
敵、二、村、三、二、〇、〇、運、送、裝、行、七、日、三、三、〇、擊、回、

通〇三〇九八 三〇七(九九〇) 擊、回、

三〇七(九九〇)



三、赤嶺陣地ニ対シ約三〇。攻取ル事ヲ一時專重シトナシ  
危險ニ類シタルモ友軍迫東ニ碇銃ノ運撃不良ノ直ニ重  
退ス

四、尚間中守ニ約三〇。侵透迫東砲陣地ヲ構築中ニテ一部  
致車ノ動ヲ見ルモ我況活潑ナラス

五、根差部ノ高安方面著変ナシ  
六、各部ヨリ報告ニ来ルニ六日中ノ綜合戦果我軍一柄生テ平輪  
一破壊人員ノ殺傷ノ約三〇。

報告未着ノ為右戦果ハ増大ニ見込

大 八 支隊 一八一五五 九七一九三七 四〇四〇〇六五九  
至 会 高 雄 通

● 聯合陸隊口・第一、第五各航空陸隊口

七一二三五七

通電先 參謀次長 (特異特情) 司總 二總 軍特情部

軍上海支部 軍廣東支部 靖 一航監 五航監

參情部第五二一號其ノ二

一、列名セル呼名次ノ如シ

空母「ダスチーベース」掃海艇「ローブント」陸上部隊「

「ブター」「パンチョー」

二、大日〇八〇〇一七日〇八〇〇ノ間現出セル艦艇數次ノ如シ

▲一五八一四〇一五〇一〇其ノ他一三八計 一四其ノ他

一三八計一〇三

四二八一、四三三五 五二二五 (陸甲四) 協作 林、利田 (一)

8~9

20 628 (陸軍刊受) 1659T

二〇六八 (陸軍刊受) 四〇三三〇 作 〇



球 參 五 六 三 號

本夕刻常陸附近ニハ約テ補ノ戰車運出シアルモノノ如キモ明カナラズ

ニ主カノ精進位ニ陸地占領ハ精進位ニ進歩中ニシテ鐵波川ノ邊ヲ占領シ  
アル第二十九師團殘留部隊タル歩兵第二十二連隊主力ノ本夜ニ於ケル  
主陸地内撤收ヲ以テ精進位進行動ヲ終了ノ筈ナリ  
三 陸軍部 陸軍部 陸軍部

( 陸 ) 六月七日配布版ノ分 ( )

〇

( 陸 )

六八 受信開始 〇〇三二四六 〇〇三七八三 作極〇

作設特別緊急 聯合艦隊 共 符

七一一一〇五

球參情電第六九五號 其ノ二

一七日〇九〇〇艦船狀況 「漢川」沖B一〇一D四W八小型艦五

「赤滿」沖B三〇一「中城灣嘉手納」沖不明

二敵機來襲狀況 〇六〇〇i〇九〇〇ノ間約七〇機「退座」陣

地及「偵察平」機隊侵入脫去南東

三天候晴量七層積雲算七〇〇視程一〇北風五米

通四一〇九 三三八三〇〇 鹿島航空

六八 受信 〇七〇九 譯了 〇九一〇 電 〇〇三七八五 作復 〇  
譯始 〇八二〇

緊急

②

沖根

停

①

六一號 作戰部隊

機密第〇八〇一二三番電

二分二

沖繩根據地隊聯合陸戰隊戰報(第二號)  
一 平良地區ニ在リシニ敵ハ約五〇〇ト六日夕刻以來交戦中  
ナリシガ七日一五〇〇全彈ヲ射盡シタルヲ以テ直保方面ニ轉進  
ラシメテ敵ハ之ニ進出字榮嶺ニ一部侵入セリ人員殺傷一二  
ニ 瀨長島砲臺(短二十榴砲二)ハ六日朝來毎日飛行場、敵ヲ攻  
撃相當ノ戦果ヲ收メ、シモ七日〇九三〇頃敵艦砲ニ依リ破  
壊セシタルヲ以テ伊良波方面ニ轉進セシムルヲ定  
戰車破壊一人員殺傷約五〇

通 四一六五 巨一五七(九六九〇)解  
四一六七

鈴木(増田)  
岩田

1697 8~6

神方 関係

六 局長 受課 〇三五五五 〇〇〇〇 〇七四五 作概 〇

緊急

譯拾 〇五一五

◎

佐世保鎮守府

作

◎

小練航空基地・沖根

大海參一郡 海軍總隊

機密第〇八〇二五番電

騒動、遂に撃つに既二箇月余此、間ニ於ケル貴威ノ勇戰威謝、  
外ナシ、而モ其素所重大ナル戦況ニ當面、將兵放然一孔トナリ  
愈忠誠、念ニ徹シテ士氣軒昂血闘明期ニシテ、報告ニ得  
シ、眞ニ感激、堪ヘズ本府、全力ヲ舉ゲテ急遽増援スル、途  
ニ切斷シツツ切ニ健闘ヲ祈ル。

通四四三 巨一Bケ十二(五二〇〇)佐通 村尾(増田)

至急

誤植。六〇。

誤了。七一二 電〇四四二

作既本

良空基地



天航空部隊戰鬥機報看倍數所  
機空(在伯里基地) 電二分一

第九三一部隊戰鬥機報第三八号(六月八日〇三号)  
一南水九号作戰鬥機同边敵機報攻要一為天山山機  
(照明二機雷惠二機) 一九一五——一九四〇迄、間二事  
良發達

二一小隊照別機發動機不調、為途中ヨリ引返即  
軍機進喜巡洋艦ヲ雷惠セルモ效果不明〇二〇新日  
軍三不利着。(電信課注) 本電二分、二未着  
通四七〇五 呂一〇七三 (七八五五) (一九四一) (未着) (五番)

6-8

六八 受信〇九四四  
譯始一〇二〇

擇了二〇四五電〇三八六七

作概〇

信房

天一號 作戰部 啟

沖根 P

機密第〇八〇七二九番電

發 G 戸參謀

(一) 敵ハ〇一〇ヨリ四〇分間〇二一五ヨリ二〇分間燈火管制  
ヲナセリ 對空砲火砲聲等、聞カズ 天候終夜暗視界積  
不良

(二) 當方準備ヲ整ヘ待機セシモ 物糧投下ハ行ハレザリシ 獲様

(三) 飛行機滿載、特設航空母艦ニ隻中一飛行艇三ノ獲衛、  
下ニ南方ヨリ出現〇七三〇度良間ニ入港セリ。

通四二〇八 於千六(九八三〇北)佐二致 武藤(百田)

一 昭和十一年六月十九日

6-9

六九 穀價〇〇二二五 神了〇三二五 電〇四一九〇 作庭本〇

至多心

石垣島警備隊

東通・聯合艦隊P・高橋 佐通・沖野V・高古警備隊

〇八〇七三五番



七日 陸軍部

一、敵機偵察合戦一〇九機、〇六五〇ヨリ一七二五迄九乃至一一機  
ノ機隊ニテ五次ニヨリ來襲主トシテ飛行場既落銃機隊一四二〇  
二、一二三〇敵機上清水艦一隻東方海面一五軒ニ  
三、一六〇〇以後  
四、一九三五同所  
五、

六八〇

一六一六

山下



6-9

六 九 受信 ○○四一五 丁一〇〇〇 電〇四三六五 航作本〇



天航空郵取調極級着信通所・藤枝航空基地

● 岩川航空基地

機密符〇八〇八四六番電 二分ノ二

四他ニ發動機故障ノ爲引返セル機一機飛行場南端ニ不時着機体大破  
搭乗員輕傷甚重一機米崎港(他基地ニ不時着機發動機不良ヲ疑ゼル  
儘今尙調査アリ)

其時機方面奄美大島備後縣豊後郡九冲郡附近中津藩屋五ノ大  
由業敵正面九州南東方一五〇哩附近南緯豊後八ノ一〇〇哩界五哩。  
(軍信標註 本頁二分ノ一既配布)

機密符〇一 呂一ケ十二(七八七五五) 一五〇〇放 鈴木(松井)

8

至急

作

六八 受信一四〇二 始一四五五 丁一六〇〇 電〇三九五 作本〇

② 戦國報社通信所

③ 高津航空基地

機密第〇八〇八五〇番電

南部攻撃部隊隊員概報(八日)

陸攻四機七日夜刻新竹基地ニ進出内三機八日〇一二〇一〇一四〇新竹  
基地ヲ發進セルモノ一機ハ發動機不調一機ハ天候不良ノ爲引返ス一機  
(大幸大尉機)ノミ進駐〇四〇七北飛行場燃料庫滑走路交又點附近命  
中五分後モ尙黒煙六條高ク昇リスルヲ見ム防禦砲火發射夜曉ナシ〇七  
三〇迄ニ全機高雄降着。

週四二八〇 呂一八ヶ十二(一一三四七五四)カニ谷

石川(機密)

6-8

六 八 受信 二〇三二五 丁 二〇三七 〇 四三〇七 作 証

至 急 天 一 監 作 設 部 設 共 符



後密部〇八一—六番電 二分ノ一

沖根聯合陸隊戰報速報第三號

一七日夕刻ヨリ戰車四ヲ伴フ敵約一〇名小隊飛行場ヲ南下シ八日〇六  
〇〇具志ノ西側ニ侵入高宮城及田頭ノ北側ノ友軍ハ之ヲ激撃敵戰中  
ニ八日〇八三〇戰車五歩兵約一五〇名ノ敵ハ小隊部落ヲ火焰放射 砲  
撃中。

東 通 註 本 問 合 々 ノ 爲 遲 延  
電 信 隊 註 本 電 二 分 ノ 二 未 着

通 電 〇 五 於 十 六 ( 九 六 九 〇 〇 ) カ ニ ケ 谷 清 水 ( 四 〇 〇 )